中　部　NOW

公益財団法人オイスカ　愛知県支部・中部日本研修センター会報

第３２３号
令和４年６月号

発行：(公財)オイスカ中部日本研修センター
〒470－0328　豊田市勘八町勘八27－56
TEL　0565－42－1101　FAX　0565－42－1103
E-mail: chubu@oisca.org　　http: //www.oisca.org/

第１０５期　新入社員研修を開催

４月４日から９日までの６日間、新入社員研修を実施いたしました。通常は複数のオイスカ会員企業様から新入社員を預かり実施していますが、コロナ感染防止対策のため、昨年に続き、太啓建設株式会社１社に限定して研修を実施しました。

今回の参加者は１６名。「万事研修」の方針のもと、３班に分かれて研修を開始しました。１日目は、学生から社会人への意識の転換と組織のあり方を学ぶため規律訓練を重点的に行います。２日目・３日目、新入社員研修基礎研修と称し、中部企業教育研究会代表の松石裕就講師による研修。終日、新入社員に必要なビジネスマナー、コミュニケーションを学びます。３日目・４日目はトイレ掃除の研修、鶏の解体実習、農業実習と体験から学び、５日目にオイスカ研修の集大成である野外総合実習を実施。６日目にグループ討議など研修のまとめをしました。

今年もコロナ影響により、海外研修生との交流は実現できませんでしたが、来年は、より多くの会員企業様から新入社員を預かり、オイスカならではの研修の機会を提供してまいります。

小杉裕一郎（筆）

コラム

ウクライナ人道支援募金のお願い

（公財）オイスカ愛知県支部　会長　光岡保之
（公財）オイスカ中部日本研修センター　所長　小杉裕一郎

今、世界を震撼させているロシアのウクライナ侵攻は戦争犯罪と言われるほど残酷であります。

日本でも深刻な状況をすべてのマスコミがトップで取り上げ、日々刻々と伝わっています首都キーウ周辺では町が墓場になっていて、殺された遺体に地雷が仕掛けられているとも言われています。ロシア軍も人としての心があるなら絶対できないはずです。

今後停戦になっても戦争の爪痕は永く生々しく残ると考えられますし、その復興には莫大な時間とお金がかかると思います。何より人の心に安寧と安らぎが戻るのはいつの日でしょうか。

２０世紀は戦争が続き、暗い世紀とも言われました。第２次世界大戦後はそれを反省して２１世紀は世界が１つになって、平和で安心安全な世紀となるように誰もが望んできたはずです。

日本ができることは、国としてウクライナの積極的な支援をすることも大切ではありますが、国民一人一人からの支援も必要です。

私たちはオイスカの理念に賛同して、会員として活動を支援しています。オイスカは人づくりや環境問題を通して国際協力をしていますが、究極の目的は世界平和です。

今その世界が危機に直面しています。私たちのできることは、ウクライナに対して人道支援をすることです。オイスカ本部としてもウクライナの避難民の受け入れを表明し体制を整えています。

愛知県支部は会員の皆様に人道支援に関する募金を切にお願いいたします。ウクライナの苦しみ、困っている人たちに会員各位様の尊い浄財で温かい手を差し伸べていきましょう。募金の目標時期を9月末とし、10月11日オイスカデーで本部中野理事長に贈呈いたします。各推進協議会でまとめて中部日本研修センターまで送付してください。

令和４年度 豊田推進協議会 総会

令和４年４月２２日（金）にオイスカ豊田推進協議会の総会が行われ、いよいよ令和４年度の活動が始動いたしました。役員では２０年以上に渡り豊田推進協議会をリードし続けられた光岡保之会長が職を退かれ相談役に就任されたこと、長きに渡りオイスカ活動に尽力された加藤みつ子副会長が退任されたことは寂しい限りですがお二人のご功績に心から感謝しお礼を申し上げます。新会長として浅学非才な私をご承認いただきました。ベテランの役員さん、そして新たにお迎えした新進気鋭の役員さん方のお力をお借りして任を務めてまいりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の事業の力点は、オイスカへのボランティア活動です。オイスカ 10 か年計画で策定された生産収入倍増に参画するために原則月１回の「ボランティアデー（午前中）」を実施いたします。ボランティア活動は人手不足のオイスカ職員を支援するとともに梅園の管理、収穫、加工や昨年植樹した栗・レモンの苗木の手入れを行うことで将来的農業生産を倍増させることに繋げます。また、一人でも多くの会員さんにオイスカにお越しいただき共に活動されることも目的としています。参加希望はオイスカまでお願いいたします。今後、季節に応じた作業を計画いたしますので是非ご参加ください。

豊田推進協議会　会長　梅村清春

東名古屋推進協議会発足式開催

4/4（月）夕方より名古屋東急ホテルにて名古屋東推進協議会の「発会式」を行いました。この日は愛知県支部、センター、近隣推進協議会の皆様、そして名古屋東の会員もご多忙の中、お集まりいただき参加者 40 名を超える盛大な発会式ができたこと改めて関係者各位に御礼申し上げます。

当会の馬渕会長の挨拶で始まり、支部の光岡会長、神野評議員に熱いご挨拶を賜りました。この日は名古屋東の会員が集まっての初会合。私も含めオイスカを理解していない人も多く発会式は「オイスカとは」の説明を主としました。

オイスカ人材育成部　浅野様からは概要、沿革、活動内容、オイスカボランティア生　坂下様からはオイスカの魅力についてパワーポイントを用いてわかりやすく説明していただきました。

続いての懇親会では、当会の鈴木敦史副会長の活気あふれる乾杯を皮切りにそれぞれが懇親を深めました。

ご参加いただいた支部副会長、近隣推進協議会の皆様のご挨拶に続き、名古屋東の会員も自己紹介。オイスカを通じて日本にそして国際社会に貢献をしたいという想い。名古屋東の会員は経営者層が多く、リクエストからオイスカの行っている実習生、研修生制度にも諸先輩から多くのご説明をいただくことができました。

初めての会合ではありましたが、参加者皆様がこれから熱意をもってオイスカの活動を行っていく未来が見えた。そんな発会式になったように感じています。

オイスカ名古屋東　推進協議会　事務局長　金森智浩

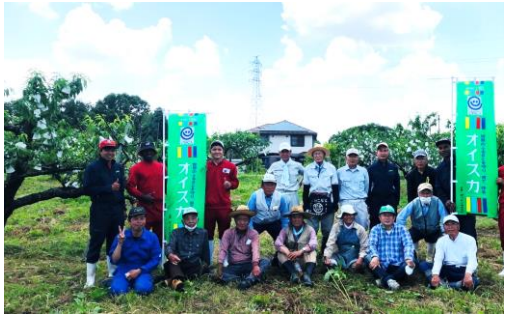
オイスカ友の会が「桃の袋掛け」ボランティア

５月２４日、オイスカ農場桃畑にて、オイスカ友の会会員１５名が参加し、「桃の袋掛け」作業がおこなわれました。友の会恒例行事として定着してきた作業は、今回職員に加え、２年ぶりに入国した農業研修生も一緒に作業が進められ、１０００個以上の実に袋をかけていきました。本来の姿を久しぶりに見ることができました

現在桃の木は３０本あり、老木化しているため、年々収量は減少していますが、２０１９年に桃の苗木を４０本植えているため、

２～３年後には、収穫の年を迎えることでしょう。最後にオイスカ友の会・佐藤鋹弘会長より中部センターに対して５万円の寄付金の贈呈を受けました。友の会の皆さま、ご支援いただきありがとうございました！！

筑田　昭雄(筆)



技能実習生続々入国

長い新規入国ビザの凍結期間が解け、中部センターにも技能実習生が入国し始めました。現地で就職もできず、日本へのビザもいつ下りるかわからず、現地で待機していた技能実習生達、日本でお待ちいただいていた受け入れ企業様、私たちスタッフも喜びひとしおです。センターが一気ににぎやかになりました。技能実習生たちが企業へ出て行く前の大切な１～２か月、スタッフ全員全力で指導していきます！中部センターサポーターの皆さま、支援バディーを引き続き募集しております。土曜午後～日曜祭日、2，3時間のコーヒーブレイクタイムにぜひ技能実習生の夢を聞きだしたり、日本事情について語っていただけたりする‘生’日本会話のご協力ぜひお願いいたします！

宗像ジュイエ（筆）

サツマイモ植え付けボランティア

５月２１日(土)、愛知県支部の呼びかけでサツマイモの植え付け作業を行いました。光岡会長をはじめとする支部・豊田推協役員とセンターのスタッフ、技能実習生など約６０名で行われました。

これはセンターで収穫される野菜などの収量と生産収入倍増計画の一環とオイスカ野菜のブランド化を目的に行われましたが、センターの人手は限られているため、何日かボランティアの日を設けて農作業のお手伝いをしてくださっています。

今回はサツマイモの植え付けを3,000本行いました。日頃お忙しい役員さんですが、技能実習生と交流しながら楽しく植え付けをされたと思います。秋の収穫が楽しみですが、収穫ボランティアをお願いする際にはぜひよろしくお願いいたします。

また、5月28日(土)には豊田推協の役員さんと会員さん約15名で去年植栽した栗の木とレモンの木の周辺の草刈りボランティアをしてくださいました。大勢のご参加本当にありがとうございました。そして、植え付け作業お疲れ様でした。

安東幸太郎（筆）

５月研修生の活動　グレゴリー（筆）

ニコさん田植え

ジェロムさん田植え

ロンさんキュウリをうえます

モーさんが田植えきを洗います

筑田先生からはたけ
仕事の説明

ズッキ―ニのかんり

トマトのユウインです

ニコさんトラクターでロータリー

農業担当職員着任と農業研修生来日

新しく農業担当職員としてロンさんが着任しました。また新しく農業研修生が来日して実務につきました。

ロン（フィジー）

農業指導員コースで2年間（2018～2019）中部センターに在籍していました。5月1日に入国し、これからは職員として研修生の指導にあたります。

ジェロム（フィリピン）

ルソン島のヌエバエシハ出身です。有機農業の勉強を頑張ります。

ニコ（フィジー）

フィジー研修センターで2年間研修を受けました。中部センターでも2年間研修予定です。

モー（ミャンマー）

ミャンマーのセンターでは稲作担当でした。日本でも稲作の勉強を頑張ります。

更新会員名簿（102／820）

岡崎（1／29）廣瀬秀子
知立（3／1）中根純子、近藤博子、加藤敞三
豊田（25／229）酒向淳治、豊田彬子、稲垣一、コンドー産業 株式会社、近藤厚司、柴田賢市、小嶋祐里、市村直生、光岡保之、有限会社 豊勝硝子店、株式会社 豊田エイタツ、小嶋則志、倉橋靖俊、大嶋雅樹、梅村清春、門池千尋、谷澤肱、光岡幸子、濱田敏子、野口里美、うたごえグループ わいがや、西栄工業 株式会社、安東幸太郎、山本晃久、犬藤奈々
名古屋（13／70）医療法人 朋寿会、長谷川幸一、児玉学税理士事務所、神野幸代、株式会社 ダイデン、長瀬諭、オリエンタルビル 株式会社、芳川猛、豊島 株式会社、神野重行、三重産業 株式会社、工業化成株式会社、株式会社 山田商会
名古屋北（11／21）南部文宏、大海好広、株式会社 笑福、一般社団法人 地域経済振興協会、株式会社 芝テクノ、日本ゼネラルフード 株式会社、株式会社 アクアテック、税理士法人 タスクマネジメント、井ノ上由貴男、田畑和紀、株式会社 シバタ
名古屋南（5／19）株式会社 ダイムラック、有限会社 五空、中里高之、後藤公平、Royal ABS Company Limited Japan
丹羽（30／60）社会保険労務士法人 MASE、一般財団法人 タイム技研社会貢献委員会、タイシン 株式会社、伊神幸泰、宮岡克年、大薮伸康、有限会社 光洋企業、東洋金属 株式会社、樋江井誠、宮地信男、株式会社 伊藤機工商会、株式会社 maruichi、能瀬誠、村上典子、近藤建設 株式会社、明日の愛知を創る会、株式会社 みやこや、三輪宮子、株式会社 名洲電機、北川秀子、長尾彰人、学校法人 むつみ学園 扶桑幼稚園、有限会社マイワークス、松浦邦彦、勝建設 株式会社、株式会社 尾北
西尾（1／35）村松明
碧南高浜（1／58）株式会社 ジェネックス

更新会員名簿（続き）

センター（9／46）清水泰弘、有限会社 大侑、大嶋勲夫、社会福祉法人 愛光園
三重（3／25）加藤信子、竹尾博光、中村久雄

（4月末までの入金を掲載）

寄附金

鈴木英之（豊田市）
福田香緒里（豊田市）
株式会社 For Nature（名古屋市）
梅村清春（豊田市）
安成工業 株式会社（安城市）
CKD 株式会社（小牧市）
小杉裕一郎（豊田市）
リンナイ 株式会社（名古屋市）
日本ガイシ 株式会社（名古屋市）
村松明（西尾市）
西尾ロータリークラブ（西尾市）
株式会社 エムアイシーグループ（西尾市）
コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（岡崎市）
NPO法人 グリーングラスロッツ（豊田市）
株式会社 maruichi（犬山市）
長田昭吾（安城市）
リネットジャパングループ 株式会社（大府市）
大岡理絵（碧南市）
角田豊秋（仙台市）
中部電力ミライズ 株式会社（東京都港区）
塚本幸夫（刈谷市）

新入会（法人）

株式会社 i&f ホールディングス（名古屋市）
協同組合愛知労務協会 常滑事務所（常滑市）
株式会社 笑福（名古屋市）
三登建設 株式会社（豊田市）
株式会社 東祥（安城市）
医療法人静心会 桶狭間病院藤田こころケアセンター（豊明市）
井高建築 株式会社（豊田市）

新入会（個人）

富田司（常滑市）
近藤博子（知立市）
加藤敞三（知立市）
中根純子（知立市）
大海好広（名古屋市）
小嶋祐里（豊田市）
波田野浩史（名古屋市）
加藤慎二（名古屋市）

寄付品

中野良之（静岡県湖西市）
明保澄雄（岡崎市）
門池千尋（豊田市）
株式会社 三好製作所（みよし市）
豊田汽缶 株式会社（豊田市）
矢作トラベルサービス 株式会社（豊田市）
清水 孝江（豊田市）
松石裕就（名古屋市）
角田豊秋（宮城県仙台市）
河合利彦（みよし市）
打田和治（名古屋市）

インクカートリッジ

坂下瑞萌（岡崎市）
中村さと子（高浜市）
谷澤肱（豊田市）
安成工業 株式会社（安城市）

ベルマーク

中村さと子（高浜市）
塩谷泰羊（みよし市）
清水 孝江（豊田市）
デザインセンターオワリヤ（半田市）

書き損じはがき

光岡正和（豊田市）
鈴木康予（豊田市）